



Raffi Besalyan

2025.
11/1 (土)
 Saturday, November 1
17:00開演
 (16:30開場)

ラフィ・ベサリアン ソロ&デュオコンサート

Raffi Besalyan Suguru Kawae
 Solo & Duo Concert

Suguru Kawae



バッハ＝ラフマニノフ：「無伴奏ヴァイオリンのためのパルティータ第3番ホ長調」より プレリュード、ガヴォット、ジーク *
 J.S. Bach/S. Rachmaninoff : Suite from Partita in E Major for Violin

ストラヴィンスキー＝アゴ스티：組曲「火の鳥」より「カスチェイ王の凶暴な踊り」*
 I. Stravinsky/Agosti : "Danse infernale du roi Kastcheï" from the Firebird

ラフマニノフ：エレジー変ホ短調 op.3-1 **
 練習曲集「音の絵」op.39より第5曲 変ホ短調 **
 S. Rachmaninoff : Élégie in E flat minor Op. 3 No. 1 Etude-Tabelaux in E flat minor Op. 39 No. 5

A. チェレプニン：8つの小品 op.88 *
 A. Tcherepnin : Eight pieces for Piano Op.88

プロコフィエフ：ピアノソナタ第7番変ロ長調 op.83 **
 S. Prokofiev : Sonata No.7 in B flat major Op.83

* Kawae / ** Besalyan

ラフマニノフ：交響的舞曲 op.45 (作曲者による2台ピアノ版)
 S. Rachmaninoff : Symphonic Dances Op. 45

 *Izumi Hall*
 住友生命いずみホール

入場料(税込)

全席指定 ¥4,000

※未就学児の入場はご遠慮ください。

ご予約・お問い合わせ

KCMチケットサービス ☎ 0570-00-8255 | 03-5379-3733 <https://www.kojimacm.com> (インターネット予約・年中無休)

コジマ・コンサートマネジメント内 Kojima Concert Management Co.,Ltd (平日10:00~18:00/土日祝休業) 本社・関西事務所 072-887-2560

◎ 住友生命いずみホールチケットセンター ☎ 06-6944-1188 (10:30~17:00/日・祝休)

◎ イープラス <https://eplus.jp> ◎ ローソンチケット <https://l-tike.com> ※クレジットカードでもお買い求めいただけます。※コンビニエンスストアでも精算・受け取り出来ます。

[後援] 同志社女子大学音楽学科・一般社団法人 全日本ピアノ指導者協会(ビティナ)

8/8(金) 一般発売開始

Raffi Besalyan

「ホロヴィッツらのロシアンピアノニズムの正統を受け継ぐ存在」(ショパン誌)、「鍵盤の奇才」(ファンファーレ誌)、「威厳ある存在と解釈の天分に恵まれた驚異のピアニスト」(アメリカン・レコードガイド)と称賛されたラフィ・ベサリアンは、ソリストとしてアトランタシンフォニー、ニュージャージーフェスティバル管弦楽団、ヴェニス・キオッジア・フェスティバル管弦楽団、アルメニア・エレバン管弦交響楽団、ロシア・ベルゴロド交響楽団、ウクライナ・ハルコフ交響楽団、モスクワ室内楽団など多々のオーケストラと共演のほか、カーネギーホールやケネディーセンターをはじめとする世界各地の名声あるホールで演奏を繰り広げ喝采を受けてきた。

レコーディングにおいては常に各誌の「ベストリリース」に選ばれ、殊にグラミー賞受賞のソノ・ルミナスとの第一弾「The Return (ザ・リターン)」,そして2021年にリリースの「The Sound of Black & White (ザ・サウンド・オブ・ブラック & ホワイト)」は、米アップル社のクラシック・ミュージックカテゴリーで6つのプレイリストに抜選された他、音楽サイト「ネイティブDSD」“今年の最優秀アルバム”に選ばれ、「ベサリアンは並外れたピアニストである。その優れた確かな演奏の中でも“エンブレイサブル・

ユー”、“ラブソディー・イン・ブルー”そして“剣の舞”は殊に圧巻であり、まさに惹きつけられる壮大な演奏である。ソノ・ルミナスのカatalogにこのスーパーレコーディングと言えるベサリアンのCDが追加されたことは実に喜ばしい!」と評するなど、数々の国際的著名な出版物に掲載され、世界各地のラジオチャンネルで放送されている。

アルメニアのエレバン生まれ。旧ソ連の特別英才児のためのチャイコフスキー音楽学校で学んだ後、コミタス大学で博士号取得後、モスクワ国立音楽院およびニューヨークのマンハッタン音楽大学で研鑽を積む。ジョセフ・ホフマン国際コンクール優勝ほか数々の受賞歴を持つ。アメリカ・ローワン大学、ウィスコンシン州立大学及びジョージア州立大学アトランタ校の教授を歴任。日本にも長年訪れ、コンサートやマスタークラス、そしてPTNAコンクール、大阪国際音楽コンクール、ショパン国際コンクール・イン・アジアなどの審査員を務め、2022年より家族と共に日本に在住。現在、同志社女子大学音楽学科で特任教授をつとめ、コンサートピアニスト、教育者として意欲的な音楽活動を続けている。

ラフィ・ベサリアン Website: www.raffibesalyan.com

河江 優

東京藝術大学音楽学部器楽科ピアノ専攻を経て、同大学大学院修士課程修了。1996年パリに渡り、エコールノルマルとスイスのジュネーヴ音楽院で研鑽を積む。

1983年全日本学生音楽コンクール西日本大会第3位。1991年日本ピアノ教育連盟オーディション入賞。1993年宝塚ベガ音楽コンクール第1位。

1998年オルレアン(フランス)20世紀音楽コンクール(現・オルレアン国際コンクール)入賞。リカルド・ビニェス特別賞(スペイン音楽の優れた演奏に対して)受賞。ラヴェルの「左手の為の協奏曲」をオルレアン管弦楽団と協演。これを機にスイスとフランスを中心に活動の場を広げる。

ジュネーヴにて現代を代表する作曲家ミカエル・ジャレル「Modifications 〜ピアノと6つの楽器のための」を演奏し、作曲家より称賛を受ける。ローザンヌにてクルターグによる室内

楽マスタークラスに選抜参加、その模様はラジオ・スイス・ロマンディにて放送される。パリ国立音楽院「ハンガリー音楽」、オルレアンでのリサイタルシリーズなどに招かれ地元紙より高評を得る。スイス・ロマンディ管弦楽団のソリストとしてベートーヴェンの協奏曲第4番を協演。

1998年日本演奏連盟主催(演連コンサート OSAKA)によりいづみホールでリサイタルを開催。以降、関西の主要ホールにおいて2001、02、04、06、08、10、11、12、13、14、15、17、19年リサイタル。2023年〜24年にはフォーレを中心に3回のアンサンブルシリーズを開催。2002年度青山音楽賞受賞。

現在、日本ショパン協会関西支部理事、日本ピアノ教育連盟関西支部運営委員、日本演奏連盟、全日本ピアノ指導者協会正会員。同志社女子大学教授。

第1回

同志社国際ピアノ講習会

2026年2月23日(月・祝)〜3月1日(日)



150th Anniversary
DWCLA 1876-2026

【講師】フレデリック・アゲシー、海老彰子、ラフィ・ベサリアン、河江優

【場所】同志社女子大学京田辺キャンパス

【対象】高校生、大学生、本学卒業生

【募集時期】2025年12月〜26年1月 ※詳細は大学Webサイトにて11月より公開

関連行事	3月1日(日) 15:00	同志社女子大学京田辺キャンパス 頌啓館 ホール フレデリック・アゲシー(1979年ロン・ティボー国際第1位) ピアノリサイタル
	3月2日(月) 10:30	ヤマハミュージック大阪なんば店 2F サロン フレデリック・アゲシー公開レッスン(日本ピアノ教育連盟関西支部主催)

